



特集 新型コロナウィルス対策

昨年暮れに中国武漢で発生した新型肺炎はまたたく間に全世界に蔓延し、パリやローマ、ロンドンなど大都市に外出禁止令が出されるまでになっています。幸い日本ではオーバーシュート（爆発的拡大）は発生していないようですが、厳重な注意を求められ、大型イベントの自粛など求められています。

私たちシニアアンサンブルとして、今後どのようにすればよいか、諸々の報道をもとに対策を考え提案します。



I 新型コロナウィルス感染の状況

体温は37.5度以上、咳、たん、息苦しさ、だるさ、などが続くようです。感染者で特に死亡率の高いのは80歳以上で心臓病、糖尿病の持病がある人が重症化しやすいようです。

II 感染の経路と防止のためケアすべきこと

「空気感染」はないようですが「飛沫感染」（会話によるしぶき）と「接触感染」により体内に入りこんでいるようです。

この2つの発生しやすい要因として、・密閉空間で換気が悪い　・人の密度が高い　・近距離での会話、発声が考えられ、これら3つの要因が重なるとクラスター（患者集団）が発生するようです。私たちシニアアンサンブルは集団による活動ですから、これらの要因が多分に含まれており、特に重なることを避けなければなりません。

III 《対策——日常生活》

- ・検温を1日3回（朝昼晩）励行し37.5度の場合、感染を疑い、2日以上続く時は医者に行くこと。
- ・外出時はマスクを着用し、帰宅時は手洗いを徹底する、また外で会食する際は直前によく手を洗っておくこと。
- ・自宅にとじこもる時は時々、体を動かすように心がけること。

《対策——SEの練習》

- ・練習場の換気に注意し休憩時間など部屋の2カ所をあけ、換気に努める。防音室などの風通しの悪い会場は特に対策する。
- ・管楽器奏者などは飛沫を防止するために間隔をいつもよりひろげる。
- ・指導者は大声に代わって黒板を使ったり、ジェスチャーでの合図を取り入れて頂きたい。近距離の個人間の連絡はスマホも活用するとよい。
- ・会場が確保できれば大人数よりも少人数（5名以下）の小アンサンブルを励行するのもよい。
クラスターを防止できパート別練習に有効。
- ・本番の際の全体合唱を避けた方がよい。



最後に

私たちの活動は趣味活動なので会社や学校のように生活のため、教育のためなどとは異なります。災害時の練習を強行して問題が起こった場合の補償はありませんし、中高年のため被災の可能性は大です。

実施するかしないかを迷った場合、中止にした方が無難です。身の安全第一で判断しましょう。

（原案 全シ連 岡村。助言、つくば代表 松田耕二、医学博士）